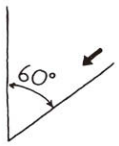
防水処理

●防水性能　JISC8105-1により次のように規定されています。

	防　雨　形	防　湿　形
防水の種類	 鉛直から60度の範囲の降雨によって有害な影響のないもの。	相対湿度90%以上の湿度の中で使用できるもの。(ただし周囲温度は5～35℃)
防水性能	散水試験の防雨形に示す方法で試験したとき、機材の内部に正常な動作を阻害するような浸水がないこと。	防湿試験に示す方法で試験したとき、機材の内部に正常な動作を阻害するような浸水がないこと。
適用場所(参考)	●軒下等、風雨にさらされる場所。 (周囲環境により、短期間に錆や腐食が発生する場合がありますので、ステンレス製器具をおすすめします)	●屋内の洗面所、ボイラー室など、比較的湿度が高い場所。(浴室、厨房など、特に湿度の高い場所には、ステンレス製器具をおすすめします)

注意)風雨にさらされない軒下でも周囲環境により反射板の錆が早期に出る場合がありますので、ステンレス製の防雨・防湿器具をおすすめします。

●防水器具

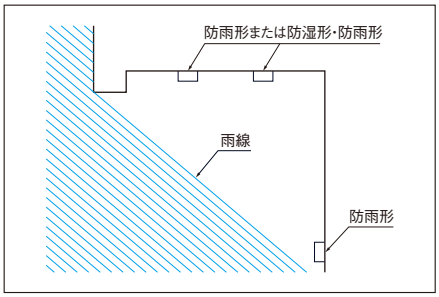
本カタログの330～333ページの器具は左記区分の防湿・防雨形器具です。

●防水器具の分類と推奨場所

ご使用される場所により、下表をご参考に機種をお選びください。(器具毎に制約がありますので、詳しくは図面、取扱説明書をご確認ください)

器具の分類	主な使用用途	使用場所の例
軒下用器具 一般防湿・防雨器具	雨が吹き込む恐れがあるところ	廊下・軒下
ステンレス製 一般防湿・防雨器具	雨が吹き込む恐れがあり、湿気の多いところ	地下道 シャワー室
耐食・耐酸器具	薬品の影響を受ける恐れがあるところ	化学工場、下水処理場 薬品を扱う実験室 プール(屋内)
高温用器具	高温多湿になるところ	ボイラー室 業務用厨房

下図のような軒下、屋外通路、アーケードなどの雨線でも雨水の降り込みなどで吸湿して絶縁不良になったり、反射板などが湿気で錆びることがありますので〈防雨形〉または〈防湿形〉の器具をご使用ください。



●軒下や屋外通路などの風が吹く場所では屋外用ダウンライトをご使用ください。
●マンション通路、非常階段などに非常灯、誘導灯を取り付ける場合には、防雨形器具を使用してください。
●照明器具で防水を目的に使用しているゴムパッキングは、使用環境(異常振動、高温、紫外線等)によって劣化が早まり防水機能が低下する場合があり定期的な点検、早目の交換をおすすめします。
●屋内用の照明器具を軒下に使用すると、水分等の影響によってまれに発火となる場合があります。
●蛍光灯は周囲の温度や風などにより明るさが変化します。
●器具への空気の出入が強い換気方法や低温となる場所では極端に照度が低下します。
●Hf照明器具は冷風がランプに当たる場合にはランプの片側が暗くなることがあります。ランプに冷風があたる場所での使用はおやめください。
●ステンレス防雨・防湿器具を温泉に使用した場合、硫黄などの影響により、サビ、変色が発生しますのでご使用はおやめください。
●駐車場、駅舎、開放廊下、倉庫搬入口、軒下、エアコンの風の強く当たる場所等の風の吹き抜ける場所でのご使用に際しましては防水形ブラケットなどの風が直接ランプに当たらない構造の器具をご使用ください。

保護等級	当社対象機種		防水器具保護性能
IP20防湿	HACCP器具で 防 表示のある器具	・HACCP器具の一部	相対湿度90%を超えることが想定される場所での使用が可能。(但し周囲温度5～35℃) 直径12.5mm以上の固形物が内部に侵入しない。 水の浸入に対しては特別に保護されていない。
IP23防湿	防・防 の両方を表示している器具	・防湿、防雨器具 ・耐食、耐酸器具 ・防水器具	相対湿度90%を超えることが想定される場所での使用が可能。(但し周囲温度5～35℃) 垂直から60°までの角度の散水に対して有害な影響がない。 直径12.5mm以上の固形物が内部に侵入しない。
IP23	防 表示のある防雨器具	・FHP105軒下用器具 ・丸形サークライン器具	垂直から60°までの角度の散水に対して有害な影響がない。 直径12.5mm以上の固形物が内部に侵入しない。 (湿度の高い場所では使用できません)
IP53	防 表示のある防雨器具 (一部の埋込器具)	・E-CORE軒下用器具	垂直から60°までの角度の散水に対して有害な影響がない。 正常な動作、安全性を阻害する量の塵埃が侵入しない。 (湿度の高い場所では使用できません)